

住民から要望

議員定数の削減を！

このたび、町民から「周防大島町議会の議会改革（議員定数12人に削減）と周防大島町議会議員定数を10人に削減する条例の改正」について2件の要望がありました。

主な内容は次のとおりです。一部の市町村議会では議会基本条例の制定をはじめとする議会改革に取り組み、成果も見られます。

また隣接する柳井市は、人口3万3千5百12人（平成27年7月現在）に対し議員定数が18人であり、議員定数が18人です。

本町の人口は1万7千8百57人に対し議員定数が16人で、議員一人当たり約1千1百16人です。柳井市は一人当たり約1千8百61人であり、柳井市と比べても明らかに多いと言えます。

確かに議員を削減すれば①議会の機能を低下させる。②執行部に対するチェック機能を低下させる。③地域の要望を町政に反映する機会を減らす等、安易

に議員を削減すると議会が機能不全に陥るという意見もありますが、住民の総意は議員定数を削減して欲しいということが大半であります。

議員一人一人が役割を明確化し、個々のスキルアップ及び行動力の向上をもって町民の代表者・町民の代弁者として自信と責任を持って行動することによって、本町の明るい未来へ向けての活性化と正常な議会運営は保たれると思われますとの要望。

議会では、9月11日に全員協議会を開催し協議した結果、今後も引き続き検討していくことになりました。

臨時会概要

平成27年第2回議会臨時会が、7月21日に開催された。

動産の買入れ・契約の締結

◆周防大島町営渡船用

ポンツーン（浮き棧橋）

・契約の相手方

大島中央造船所

・予定価格

9百72万円

・買入価格（落札率95.6%）

9百28万8千円

◆久賀公民館耐震改修

工事の請負契約の締結

・契約の相手方

平川建設(株)

・予定価格

1億6千8百91万2千円

・契約金額（落札率73.8%）

1億2千4百63万2千円

以上、原案のとおり可決された。

行政報告

旧三浦小学校校跡地の利用について

旧三浦小学校の運動場及び校舎の一部を民間企業に貸し付け、農業用のビニールハウス（パプリカの栽培試験・栽培技術研修施設）を建設（1千4百㎡）し、校舎の一階部分は選果室や事務室等として使用し、遊休施設の有効活用を努めます。

【パプリカとは、ピーマンより大型で肉厚のベル型ピーマン（赤オレンジ黄等）のことを言い、甘みがあり苦味や青臭さはありませんが、ビタミンCやカロテンはピーマンより更にたくさん含まれています。生でも食べられますし、粉末化した物は香辛料として使われます。】



▶ 旧三浦小学校



▲ 老朽化した前島行き渡船乗り場の浮き棧橋